

「女子中高生夏の学校 2022～科学・技術・人との出会い～」参加報告

女子中高生が「科学技術にふれる」、科学技術の世界で活躍する女性たちと「つながる」、科学技術に関心のある仲間や先輩とともに「将来を考える」ための機会として女子中高生夏の学校（以下、夏学）2022 は、8月7日（日）、8日（月）に開催されました。コロナ渦の影響で今年度もオンライン開催となった中で、2日間のオンライン研修期間中、女子中高生が理工系の研究者や技術者、大学生・大学院生等との交流を通じて、理工系進路の魅力を知り、理工系に進もうという意思を高めるという目標の下で、全国 26 都道府県から 115 名の女子中高生が参加しました。2 日間の研修を通じて女子中高生と研究者・技術者・大学院生などが交流し、理系進路選択の魅力が伝えられる有意義なイベントとなりました。夏学の主催は NPO 女子中高生理工系キャリアパスプロジェクトで、男女協働参画学協会連絡会が協力した体制で、45

の協力団体がオンラインで実験やポスターを提供しました。

日本物理学会からは、8月8日(日)のポスターでのキャリア相談「研究者・技術者と話そう」、「進学&キャリア相談カフェ」、8月9日(月)に行われた実験・実習「光を聴く、音を光に乗せる」に参加しました。ポスター、キャ



図 1: 進学&キャリア相談カフェの一場面

リア相談ではロールモデルである女性研究者 2 名と相談員が、日本物理学会の取り組みを紹介したり、物理の面白さや女性研究者の活躍、参加した学生さん達の物理に関する疑問やキャリアに対する不安、悩みに真摯にお答えし、学生さん達の意思を尊重しながら未来に向かっていく後押しをしました。引き続き、カフェルームでは進路選択の悩み、物理はどうやって勉強したらいいのか？から、ひ

も理論の真髓の理解まで、多岐にわたる質問があり、充実した時間でした(図1)。

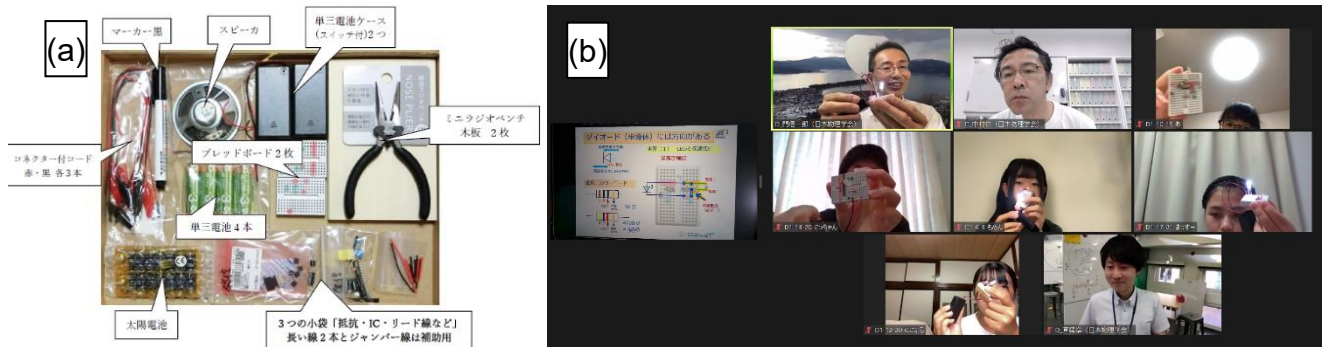


図 2: (a) 実験・実習「光を聴く、音を光に乗せる」の実験キット、(b)実験実習の様子

実験・実習「光を聴く、音を光に乗せる」では、参加した生徒は事前に送付された実験キット(図2(a))を使用して、講師の指導のもと実験を行いました(図2(b))。開催後のアンケートでは「とても良かった」、「楽しかった」と多くの感想が寄せられました。